続・街の博物誌

河野典生

早川書房

続・街の博物誌

河野典生

早川書房

10[illegible]

著者略歴
昭和10年生
主著書
「緑の時代」
「街の博物誌」（以上早川書房刊）

検印廃止

続・街の博物誌

昭和五十四年七月十日　印刷
昭和五十四年七月十五日　発行

定価　一三〇〇円
（〇〇五三-九〇三五六-六九四三）

著者　河野典生（こうの てんせい）
発行者　早川清
発行所　株式会社　早川書房
郵便番号　一〇一
東京都千代田区神田多町二ノ二
電話　東京（二五二）一五一〇〜八
振替番号　東京・六〇七九九番

乱丁・落丁本はお取替えいたします

印刷・株式会社亨有堂印刷所　製本・株式会社明光社

続・街の博物誌

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

わが
内なる狂気に
再会の握手を

目

次

序曲　ぼくは見た遊弋する少女……九
Part 1　虹……一七
Part 2　巨鳥モア……三七
Part 3　ドードー……五三
Part 4　アリゲーター……九一
Part 5　ヒガンバナ……二五
間奏曲　ありふれた日々、ありふれた旅……三七

Part 6　パラダイスキノボリヘビ……一七一
Part 7　バンヤン・ツリー……一九七
Part 8　鳥類観察日記……二三
Part 9　光……二四一
Part 10　星空または黄金虫……二六七
終曲　そこには、さんさんと陽が射す……二六九

装幀・挿画　新井苑子

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c

序　曲

ぼくは見た遊弋する少女

ぼくは見た
ボンベイ、サダール・パテル・ロードと
パダムジ・ロードの
クロスする地点

炎熱の路上を遊弋する少女
白い少女

細く長い腕と
細く長い脚を
蜘蛛のようにゆるやかに優雅にあやつって

一枚のパイサ貨を落す手を
リサーチしながら
遠いガネッシュ祭りの太鼓のリズムに
くるぶしと肘をふるわせ答える少女

近くハヌマン・テンプルの鐘の連打
白い頬に微笑が浮かぶ

きみは何者だ
きみは何者だ
トウキョウ郊外
通学路の標識の前
野犬の食いちぎった
ビニール袋の残骸のある
埃りまみれの林の中
ゆるやかに優雅に手足をあやつり
はるかなガネッシュ祭りの太鼓とともに
きみはくるぶしと肘で踊る

蜘蛛のような手足
すすきの穂のような髪
小牛のようなおだやかな眼
鳥のように細い直腸
カイコのように透きとおった肌

そうか
きみは彼らと交合したのか
きみは彼らを摂取したのか
きみは彼らを排泄し
彼らに吸収せしめ
彼らと光合成し
彼らの塵を吸い
彼らの葉脈と化し
いま彼らと共にある
彼らはきみを通過し
彼らはきみを通過せしめる

彼らは
彼らは……
少女よ
遊弋する少女よ
きみはガネッシュ、象の頭の神
きみはハヌマン、猿の姿の神
きみは蜘蛛、きみはすすきの穂、きみは小牛、鳥、カイコ、
陽の光、灼熱の土地、氷の結晶——

少女よ
遊弋する少女よ
きみは、いまこの世界の創り主
飛ぶ蛇、生ある樹、虹の街、光る人びと、通勤する鰐……

遊弋し踊り通過し通過せしめるそれら、それら
それらをぼくは見た
それらをぼくは見た
それらとぼくは踊る

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.c